

令和4年度 環境で地域を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果共有会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	✓

活動団体名：ななおSDGsスイッチ

活動地域：石川県七尾市

活動におけるテーマ

『市民と共に歩む七尾版ローカルSDGsプロジェクト』

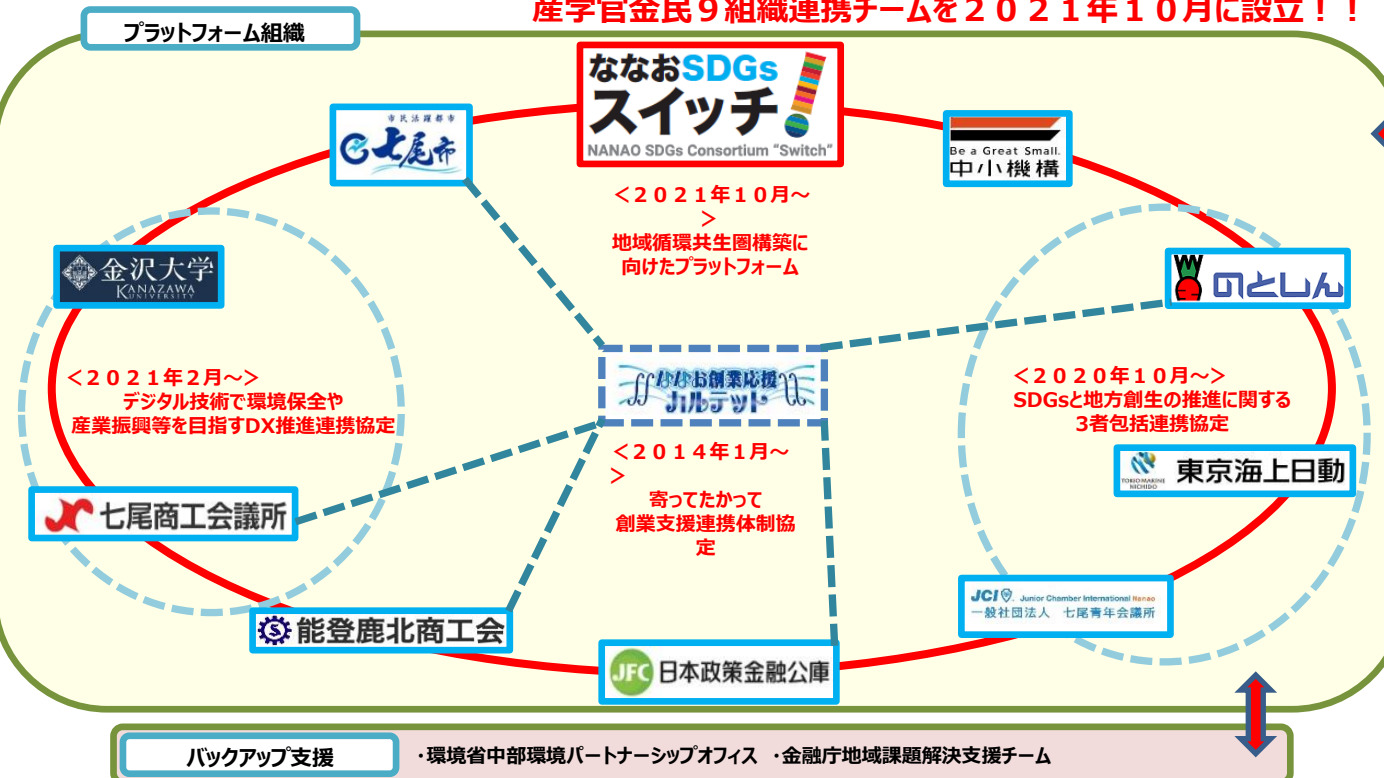
活動団体および活動地域の紹介



七尾市における産学官金連携SDGs・ESG推進のための 七尾SDGsコンソーシアム「ななおSDGsスイッチ」



産学官金民9組織連携チームを2021年10月に設立！！



2022年度事業連携組織

【社会面事業（ビジョンづくり）】

- ・株式会社プロジェクトデザイン 竹田・大槻 様
- ・一般社団法人よんなな会発起人 脇 様
- ・株式会社地域みらい代表取締役 北原 様
- ・ユリス代表 島田 様
- ・福井県立大学准教授 高野 様
- ・Willsame取締役 柳原 様

【社会面事業（SDGs市民大学）】

- ・国連大学研究員 小山 様
- ・石川県副知事 西垣 様
- ・株式会社こみんぐる取締役 林 様
- ・株式会社楽天メディカルプロジェクトマネージャー レイチェル・オラナフ 様
- ・TBSホールディングス社長室部長 井上 様

【環境面事業】

- ・株式会社バイオーム 様
- ・北陸電力株式会社七尾店 様
- ・能登GIAHS推進協議会 様
- ・七尾市たかしな地区活性化協議会 様

【後援協力】

- ・財務省北陸財務局
- ・環境省中部地方環境事務所
- ・中部環境パートナーシップオフィス
- ・北國新聞社
- ・中日新聞北陸支社

地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿



【2023年2月】＜内閣府「SDGs未来都市」認定制度申請済＞

経済面・社会面・環境面アプローチを踏まえた内容による「SDGs未来都市・モデル事業認定制度」への申請を実施
(SDGs推進都市として対内外に情報発信 ⇒ 七尾市内におけるローカルSDGs推進の更なる活性化に繋げるもの)

企業が将来に渡り継続し、より発展していくSDGs推進企業が生まれ育つ土壌を創る
七尾版「企業のSDGs宣言登録認証制度」の構築・運用

東京海上日動

SDGs宣言登録認証制度の構築 及び 広報手法検討



・地域課題・資源を活用した新商品の開発応援事業

東京海上日動

・中小・小規模事業者・市民向けSDGs普及啓発事業



・中小・小規模事業者向けSDGsよろず相談窓口の開設
・個社のSDGs推進向け金融商品開発・販売

JFC 日本政策金融公庫

・ソーシャルビジネス支援資金の活用検討

経営支援機関等の本業拡充



七尾商工会議所

能登鹿北商工会



SDGs宣言登録認証制度に連動した「ななおSDGs支援パッケージ」の構築



・ワンストップ創業支援事業
ゼブラ企業のワンストップ創業支援事業
空き店舗物件ツアー等の地域課題×創業支援事業



・専門家対応「SDGs相談窓口」との連携事業

経済面アプローチ

地域のあらゆる主体が参画して創る
「地域未来ビジョン」策定

JCI 七尾市 七尾青年会議所

2022年5月
・「ななおをつなぐ」未来ビジョンフォーラム開催
⇒ 地方創生とSDGs未来都市について知る
⇒ 垣根を超えたコミュニティが発揮する力を知る
⇒ 七尾市の過去の地域ビジョンとその実現を知る

2022年7月～10月(計4回)
地域未来ビジョン検討ワークショップの開催
⇒ 市民みんなで先行事例や総合戦略などを勉強し、
持続可能な七尾市のビジョンを検討する

2022年10月～12月
地域未来ビジョン総選挙の開催と周知展開
⇒ あらゆる主体で策定したビジョンを地域全体に
周知し、地域共通のビジョンとする

社会面アプローチ

世界農業遺産(GIAHS)を利用保全
「能登の里山里海」

Otsunomiya City

・里山保全活動×環境学習×デジタルプロジェクト
⇒ 生き物の画像をAIで瞬時に判定できるスマホアプリと
連動した生物多様性環境学習ワクワククエストを実施

七尾商工会議所

金沢大学

・七尾湾ブルーカーボン(藻場再生)プロジェクト
⇒ 全国第3位の面積を誇る藻場の減少を食い止め、
CO2吸収源対策に取り組む

Otsunomiya City

・自然の恵み生成プロジェクトと森づくりファンド運用

金沢大学

・シンクタンクリサーチ機能によるプロジェクト支援

環境面アプローチ

能登SDGs
市民大学

Noto SDGs Citizen College

【能動的な市民輩出装置】～Noto SDGs Citizen College～「能登SDGs市民大学」を開講
市民のためのSDGsの理解とシビックプライド、社会・地域課題解決や持続的な経営を組み合わせた六方良し創業・新プロジェクトに役立つ学びの場

第1期生は190名！
第2期生も141名！

地域ニーズ発見！

＜事業概要＞

・開校期間：【第2期】2022年10月～2022年12月(月2回・原則：18:00～20:00)
・参加対象者：市民をはじめとするあらゆる主体(七尾市とその周辺地域に所在を置く、または七尾市とその周辺地域に縁、関心のある高校生以上の事業者、
創業希望者、地域住民、公務員、民間企業や団体組織にお勤めの方、学生等)
・講師陣：東京海上日動火災保険(株)、国連大学いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット、石川県庁副知事、(株)こみんぐる、楽天メディカル(株)
TBSホールディングス、(大)金沢大学

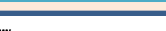
＜講義別カリキュラムテーマ(第2期開催の講義例)＞

1. 地方創生とSDGs 2. SDGs概論 3. SDGs推進に取組むプレイヤー最前線事例
4. ダイバーシティ&インクルージョン 5. SDGsとコミュニティ暗号貨幣の可能性
6. 能登エリアの地域課題と魅力的な地域資源 7. SDGs視点でのメディアとのパートナーシップ

＜地域課題＞

主体性を持つ市民
プレイヤー輩出に
までは至っていない。
より効果的な施策
展開が必要。

地域・市民・事業者



東京海上日動



七尾商工会議所

能登鹿北商工会

＜地域向けSDGs推進プロジェクトの実施＞
・SDGsカードゲームを使用したセミナー実施
・SDGsに基づく定期的なSDGsプロジェクトの推進
・その他市民のシビックプライドの醸成に資する事業

地域住民(創業希望者)



七尾商工会議所

能登鹿北商工会

＜事業者・市民向けSDGs意識アンケート調査の実施＞
・事業者向け事業者向けSDGs・ESG意識調査事業
・市民向け事業者向けSDGs・ESG意識調査事業

事業者



日本政策金融公庫

＜市内学校でのSDGs出前授業の実施＞
・市内高校生向けビジネスプラン策定支援
・市内小中学校でのSDGs出前授業の実施
・市内小学校のSDGsプロジェクト・ESDサポート

地域全体



七尾商工会議所

金沢大学

市内小中高生



七尾商工会議所

金沢大学

＜七尾市フィールドへの学生誘致＞
・地域課題を踏まえた大学生へのアントレプレナー養成講義
・学生連携による地域有志活動の活性化プロジェクト実施

地域のありたい未来実現のための これまでの歩み



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			全国キックオフミーティング					中部ブロック中間共有会				全国成果共有会
なおSDGsスイッチ全体連絡会議		第2回連絡会議			第3回連絡会議							第4回連絡会議
各部会ミーティング			部会開催		部会開催		部会開催		部会開催			
＜環境面＞ 生物多様性学習企画事業			企画立案	システム設計調整	システム設計調整	企画スタート	現地イベント開催	データ集計作業	データ集計作業	データ集計作業	データ納品	里山里海生き物展示会
＜社会面＞ 未来ビジョンづくり事業		未来ビジョンフォーラム開催		ビジョンワークショップ	ビジョンワークショップ	ビジョンワークショップ	ビジョンワークショップ	ビジョン名七尾市民一斉総選挙	ビジョンブック編集周知事業			
＜社会面＞ 能登SDGs市民大学			カリキュラム調整作業	カリキュラム調整作業	カリキュラム調整作業	受講生募集期間	大学開講第1講第2講	大学開講第3講第4講	大学開講第5講第6講	データ集計作業	修了生卒業証書送付	
＜社会面＞ 市内小学校SDGs出前授業			和倉小学校七尾高校	七尾高校		七尾高校東部中学校			東雲高校		東部中学校	
＜経済面＞ SDGs経営相談会専門家派遣	SDGs相談会専門家派遣	SDGs相談会専門家派遣	SDGs相談会専門家派遣	SDGs相談会専門家派遣	SDGs相談会専門家派遣	SDGs相談会専門家派遣	SDGs相談会専門家派遣	SDGs相談会専門家派遣	SDGs相談会専門家派遣	SDGs相談会専門家派遣	SDGs相談会専門家派遣	SDGs相談会専門家派遣
＜経済面＞ 宣言登録認証制度構築			登録制度・パッケージ化検討会		登録制度・パッケージ化検討会		登録制度・パッケージ化検討会		登録制度・パッケージ化検討会			登録制度・パッケージ化検討会
＜経済面＞ SDGs経営セミナー											SDGs経営セミナー	
＜経済面＞ SDGs就活イベント			SDGs就活2022春				SDGs就活2022秋					
＜総合面＞ 各地での事例紹介				・糸魚川市	・横浜市	・七尾市			・名古屋市	・小矢部市 ・金沢市	・小松市 ・福岡市 ・越前市 ・七尾市	
＜総合面＞ 各種表彰制度申請			JCI日本第6回価値デザインコンテスト	SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞	地方再生大賞	内閣府 官民連携SDGs表彰制度	内閣府 地方創生SDGs金融表彰制度	JCI日本 アワードジャパン2022		JCI日本 アワードジャパン2022 授賞式	内閣府 地方創生SDGs金融表彰制度 授与式	

七尾市SDGsスイッチの段階フェーズから見た事業実施について

目指す地域の姿「社会的起業や地域課題解決に取組みやすい環境」と「市民・事業者・団体の増加と輩出」



【花づくり】プレイヤーの育成

【事業6:経済面】

・SDGs登録認証制度を基準としたSDGs経営支援パッケージで、社会・地域課題解決事業を積極的に支援



【土壌づくり】地域環境の整備

【事業5:社会面】

・シビックプライド醸成を目的に誇れる街の見える化として各種表彰・選定制度へ申請やPR登壇を実施

【事業4:社会面】

・地域のあるゆる主体が参画し地域の目指したい姿を未来ビジョンとして主体的に策定する企画を実施



【事業3:社会面】

・市内教育現場におけるソーシャルビジネス立案やSDGsに関する出前授業の開催を開催

【事業2:社会面】

・地域のあるゆる主体が地域のSDGs推進や持続可能な取組みについて学べる能登SDGs市民大学を開催



【事業1:環境面】

・市民が世界農業遺産や里山里海の生態系に触れ、生物多様性や地域環境資源に関心を寄せる企画を開催



七尾市(地域・個者)におけるSDGsの理解・シビックプライドの醸成・共創や連携に繋がる出会いの創出

一部プレイヤーだけの活動限界により地域全体での拡張性がなく多くの市民が関与する巻き込みが必要

【環境面】集まれ、生き物調査隊「ノトの里山里海を調査せよ！」生物多样性環境学習イベントの開催



＜現地イベント＞

日 時：2022年10月1日 開催場所：七尾市内の廃校
参加人数：**110名**

＜クエストイベント＞

開催期間：2022年9月23日～10月31日
参加者数：**164名** 投稿数：**947件**

＜生き物調査報告展示会＞

日 時：2023年3月20日～
開催場所：市内各地

【社会面】地域のあらゆる主体がインプットする場「能登SDGs市民大学」の開講

令和4年10月開講

■会場受講生：定員／先着80人 全講座
■オンデマンド受講生：定員なし
【地域の発展を後継者に伝えるための交流】

能登SDGs市民大学

地域の魅力を後継者に伝える仕組みづくりを、みんなで学び実践しよう！

2nd season

受講生を募集します

■会場：七尾商工会館2階大ホール
（受講対象：能登に在住のあらゆる世代、第1期受講生も可）

■講座開催日程 計5回・9講座

第1回/10.6(木)
講座①18:00～21:00(会場受講生のみ)
第2回/10.27(木)
講座②18:00～19:00 講座③19:00～20:00
第3回/11.17(木)
講座④18:00～19:00 講座⑤19:00～20:00
第4回/12.1(木)
講座⑥18:00～19:00 講座⑦19:00～20:00
第5回/12.22(木)
講座⑧18:00～19:00 講座⑨19:00～20:00(会場受講生のみ)

■会場での学びの機会を最大限に活用するためのポイント

●各講座の学びの成果を、地域に還元するための取り組みを行います。

●各講座の学びの成果を、地域に還元するための取り組みを行います。

●各講座の学びの成果を、地域に還元するための取り組みを行います。

能登SDGs市民大学

能登市SDGs推進課

TEL:0767-54-8888 FAX:0767-54-8811



<2022年度 能登SDGs市民大学 2nd season>

- ・開催期間：10月～12月(全5回)
- ・講師陣およびカリキュラムをバージョンアップして実施

・参加人数：141名 ・のべ受講者数：600名 ・年齢構成：17歳～70歳

特 徴：公務員が17%占める

：座学形式よりもワークショップ形式を求める声が多く次回へ反映



【社会面】地域のあらゆる主体と共に地域の未来ビジョンを策定する「NANAO GIFT 2040」の開催

2040年への未来ビジョン

里山里海 未来都市 七尾

NANAO
GIFT
2040

心豊かな人々が
幸せに暮らし続けるまち

未来ビジョンができるまでの
ストーリーはこちらから

主催：一般社団法人七尾青年会議所 共催：ななろSDGsスイッチ



(再掲) 現状の地域プラットフォームと取組を通じての変化



七尾市における産学官金連携SDGs・ESG推進のための 七尾SDGsコンソーシアム「ななおSDGsスイッチ」



産学官金民9組織連携チームを2021年10月に設立！！

プラットフォーム組織



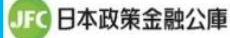
<2021年10月～>
地域循環共生圏構築に
向けたプラットフォーム



<2020年10月～>
SDGsと地方創生の推進に関する
3者包括連携協定



<2014年1月～>
寄ってたかって
創業支援連携体制協
定



<2021年2月～>
デジタル技術で環境保全や
産業振興等を目指すDX推進連携協定



2022年度事業連携組

- 【社会面事業（ビジョンづくり）】**
 - ・株式会社プロジェクトデザイン 竹田・大槻 様
 - ・一般社団法人よんなな会発起人 脇 様
 - ・株式会社地域みらい代表取締役 北原 様
 - ・ユリス代表 島田 様
 - ・福井県立大学准教授 高野 様
 - ・Willsame取締役 柳原 様
- 【社会面事業（SDGs市民大学）】**
 - ・国連大学研究員 小山 様
 - ・石川県副知事 西垣 様
 - ・株式会社こみんぐる取締役 林 様
 - ・株式会社楽天メディカルプロジェクトマネージャー レイチェル・オラナフ 様
 - ・TBSホールディングス社長室部長 井上 様
- 【環境面事業】**
 - ・株式会社バイオーム 様
 - ・北陸電力株式会社七尾店 様
 - ・能登GIAHS推進協議会 様
 - ・七尾市たかしな地区活性化協議会 様
- 【後援協力】**
 - ・財務省北陸財務局
 - ・環境省中部地方環境事務所
 - ・中部環境パートナーシップオフィス
 - ・北國新聞社
 - ・中日新聞北陸支社

バックアップ支援

・環境省中部環境パートナーシップオフィス ・金融庁地域課題解決支援チーム

<取組全体を通しての成果>

(1) 市内におけるSDGs推進に係る認知度の向上

→SDGs推進に関する相談はコチラに寄せられる

(2) 能動的市民による地域活性化事業の増加

→市民団体によるプロジェクトが誕生

(3) 行政を含む共創プロジェクトの増加

→単独実施事業から共創事業が増加

(4) SDGs未来都市申請の実現⇒採択結果待ち

→設立当初の目標を実現

(5) 取組みに対する外部の評価および認知度向上

・JCI日本 **AWARDS JAPAN 2022グランプリ 受賞**

・内閣府 **第2回 地方創生SDGs金融表彰 受賞**



<取組におけるボトルネックや新たに見えてきた課題>

(1) 主体性 (PF事務局)

→事業全体のマネジメントを専業として行える人材がいなければ回らない。フリーライドから**バトンの担いへの昇華**が非常に大切である。

(2) 主体性および継続性 (地域プレイヤー)

→短期では結果が出ない場合や、持ち出し資金が嵩むほど、取組みフィールドからの撤退や機運低下は避けられず、**プレイヤーのモチベーション維持が非常に難しい**。

(3) PF事務局や地域プレイヤーの収益性

→地域や社会課題に対するソーシャルビジネス経営の収益化は非常に難しいと言われている。CSRレベルでの事業は補助金が切れれば続行が不可能な状況。

別事業による収益確保を推進するのではなく、CSRの**CSV化や6方よし経営の推進を図っていく必要**がある。

<2023年度以降の我々のチャレンジ>

(1) 地域の未来ビジョン「里山里海未来都市」の実現に向けた基礎調査事業

- 地域のあらゆる主体とともに策定した地域の未来ビジョンを飾り物にしないよう、実現に向けた**具体的なマイルストーン**を設定。
- 地域プレイヤーとなる主体が客観的に地域資源や地域課題を認識できるよう、街として**洗い出し作業**を行い、地域プレイヤーに街の資源・課題を提示、取り組みやすい環境を整備するだけでなく、プレイヤーの各論ベクトルが自然と合ってくるよう導ける**ガイドラインを整備**。

(2) SDGs未来都市推進における具体的な各論プロジェクトの実施

- 地域プレイヤーに各論への取組みを促すために、PF事務局が率先し(1)事業を含む**各論プロジェクト**に取組む。単発の事業実施ではなく、**地域プレイヤーへの主体委譲を想定**したものや、既存の行政施策をテコ入れし、地域循環共生圏色に見える化する取組みを実施する。

(3) 持続可能な事務局運営と既存事業のバージョンアップ実施

- 国の施策終了後も持続可能なプロジェクトのマネジメントを行えるよう、PF事務局の継続運営体制を検討し、**主体性を発揮したくなる、参画したくなる事務局体制の整備**を行う。
- 過去実施してきた事業を参加者アンケートの結果をもとにバージョンアップし、より市民ニーズに合った事業、そして**飽きが来ずより多くの市民を巻き込む関わりシロ事業**へと発展させていく。